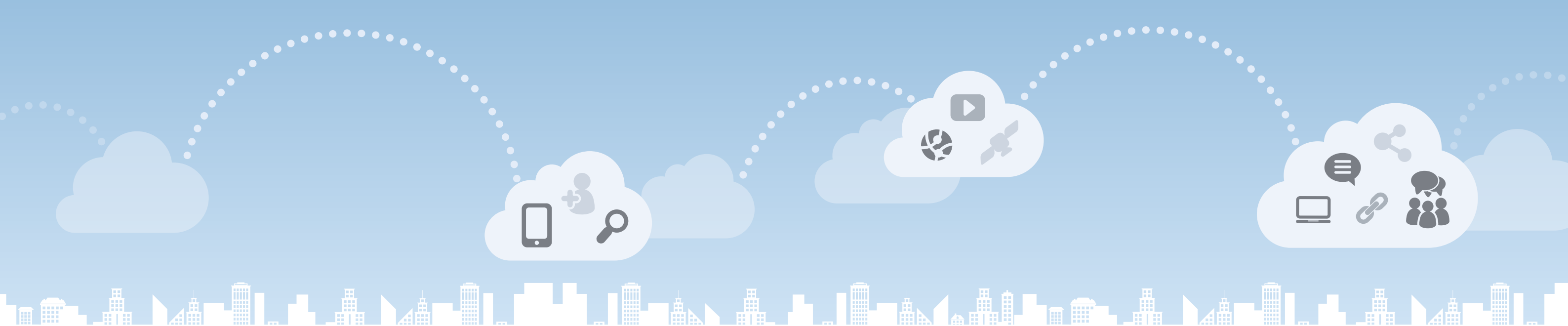




INFORMATION **JBCC**
holdings



この会社案内は、JBCCホールディングス株式会社が印刷プロセスで使用する89.35kgのアルミ版をリユースする事で、**CO₂排出量を95.24kg削減しました。**

環境省環境省認定
当CO₂削減認定は株式会社日本スマートエナジー社がこの印刷システムを厳格・公正に審査・確認して与えられたものです。



MCP 0033
マイナーストック・プロジェクト



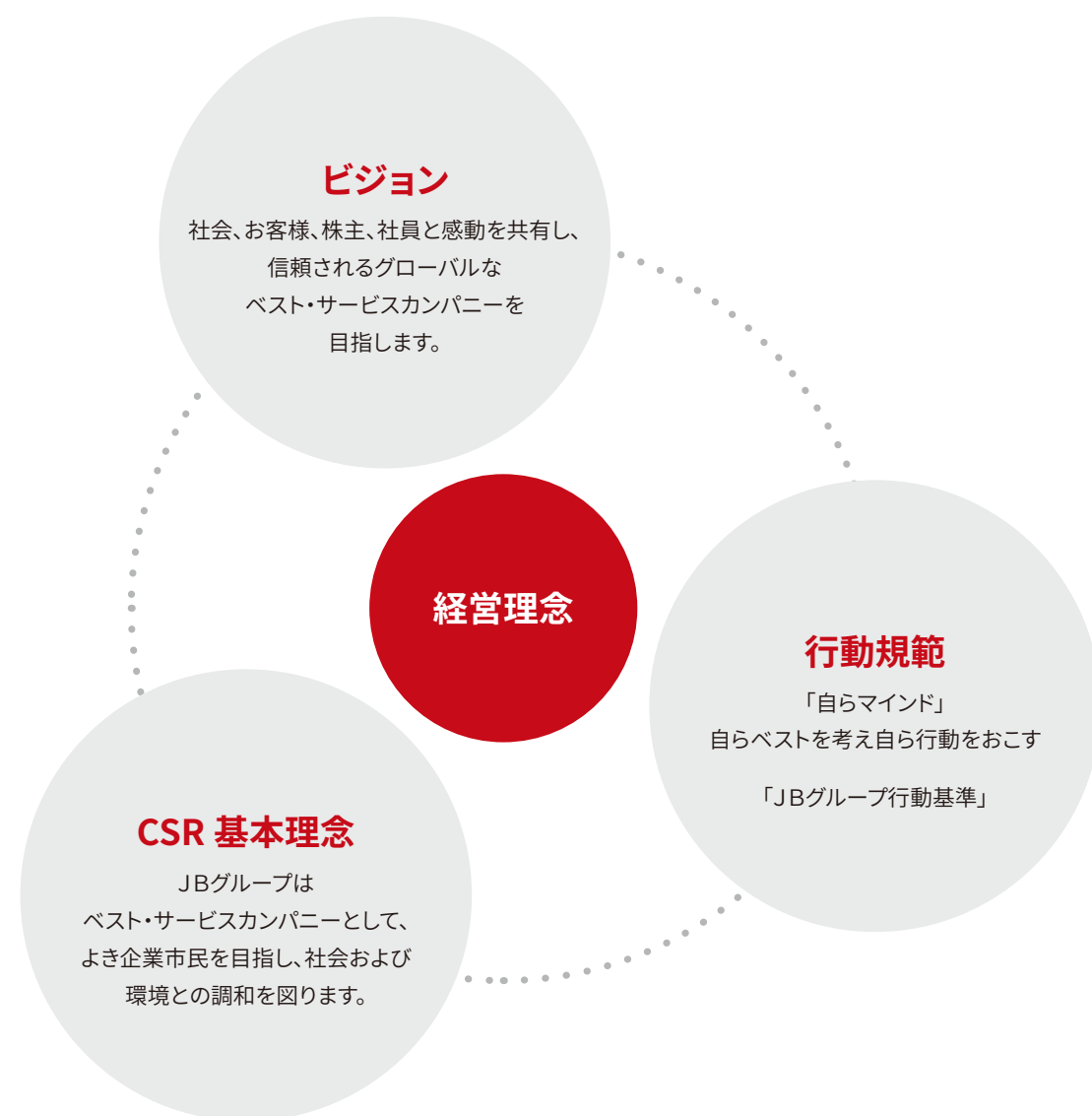
高さ 22m
直径 26cm
1 2 3 4 5 6 0.83

95.24kgのCO₂削減量とは
樹齢50年(高さ22m直径26cm)の杉の木約6.83本分が1年間に吸収するCO₂量に匹敵します。

(出典：林業日報)



ITの可能性を、未来の可能性に。—— 目指すはベスト・サービスカンパニー



JB group

JBCC株式会社 (JBCC)
株式会社シーアイエス (CIS)
ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社 (GBS)
株式会社アイ・ラーニング (i-Learning)
JBサービス株式会社 (JBS)
株式会社ソルネット (SOLNET)

佳報(上海)信息技术有限公司 (JBCN上海)
JBCC(Thailand) Co., Ltd. (JBTH)
JBSG PTE. LTD. (JBSG)
JBパートナーソリューション株式会社 (JBPS)
株式会社イグアズ (iGUAZU)
JBアドバンスト・テクノロジー株式会社 (JBAT)
C&Cビジネスサービス株式会社 (C&CBS)

私たちを取り巻く社会・経済環境は日々変化し、お客様企業の成長戦略や経営課題、IT活用ニーズは多様化、高度化してきております。

JBグループは、1964年の創業以来2万社以上のお客様企業のIT活用を支援してまいりました。これらの経験と実績をベースに、グループ各社はそれぞれが得意とする事業分野においてスピード感のある事業展開を行い、お客様に最適なソリューション（解決策）、サービスの提供を積極的に行っております。

これからも、グループ各社が連携し、社員が一丸となってお客様満足度の向上と企業価値の最大化、社会への貢献を通じて皆様から信頼されるグローバルなベスト・サービスカンパニーを目指してまいります。今後ともより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ブランドシンボルの意義
“知性”と“情熱”

JB group

赤＝社員の強い情熱
グレー＝IT企業として必要な知性
JとBの一体化＝お客様や社会、パートナーとの「繋がり」を想起
J上部の丸いポイント＝「個人の人格の尊重」や「自立した姿勢」を表現
全体＝「信頼感」あるイメージで構成



JBCCホールディングス
代表取締役社長

山田 隆司

グループ各社が連携してお客様を支援します

3つの事業分野でグループ各社が連携してお客様を支援

JBグループは3つの事業分野でビジネスを展開しています。

お客様の経営や業務の課題を解決するためのソリューションやサービスを取り揃え、最適なIT活用を支援しています。

情報ソリューション

IT活用に関するトータルサービス（コンサルティング、アプリケーション開発、システム開発、運用、保守、監視、アウトソーシング等）の提供を行っています。

JBCC株式会社
株式会社シーアイエス
ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社
株式会社アイ・ラーニング
JBサービス株式会社
株式会社ソルネット
佳報（上海）信息技术有限公司
JBCC(Thailand) Co., Ltd.
JBSG PTE. LTD.
JBパートナーソリューション株式会社

製品開発製造

JBグループ独自のソフトウェアソリューション、プリンティングシステム、セキュリティ関連ソリューション等の開発・提供の他、お客様に合った最適化ハードウェアの提供を行っています。

JBアドバンスド・テクノロジー株式会社

ディストリビューション

ビジネスパートナー様向けに、IT製品、クラウドサービス、および3Dプリンター等の販売を行っています。また、法人向けにITサプライ用品の販売と、ウェブを活用した調達代行を行っています。

株式会社イグアス

シェアード・サービス

人事・総務、経理・財務、情報システム、業務サービス（業務支援、業務管理）を中心に、JBグループ内の各種スタッフ業務を行っています。

C&Cビジネスサービス株式会社

沿革

第1の創業

自社ブランドの確立

- 1964年 4月 日本ビジネスコンピューター株式会社設立
- 1964年 4月 超小型コンピューターの先駆けとなるTOSBAC-1100Dを開発、販売
- 1977年 10月 日本で初めて漢字処理ができる「システム-1 漢字」を開発、販売
- 1982年 4月 CI導入、新ブランド名を「JBCC」とする
- 1982年 5月 意思決定支援システム「JUSMATEシリーズ」を開発、販売
- 1983年 3月 日本アイ・ビー・エム販売株式会社と販売提携し、「IBMマルチステーション5550」を販売
- 1983年 3月 日本初のネットワーク分散処理システム「C-200」を開発、販売



システム-1 漢字

1964

第2の創業

日本IBMのパートナーとしてビジネス基盤を強化

- 1983年 8月 日本アイ・ビー・エム株式会社と資本・業務提携
- 1999年 7月 運用センター（SMAC）を開設
- 1999年 10月 株式を東京証券取引所市場第二部へ上場
- 2000年 9月 株式を東京証券取引所市場第一部へ上場
- 2004年 1月 ISO140001取得（横浜事業所）
- 2004年 11月 JBCCヘルスケア・コンソーシアム（JBHC）を設立



運用センター SMAC
(Solution Management and Access Center)

1983

第3の創業

さらなる成長に向けてホールディングス体制に移行

- 2006年 4月 純粋持株会社としてJBCCホールディングス株式会社スタート
- 2008年 11月 中国大連市に拠点を設立しグローバル展開を開始
- 2009年 10月 クラウド・インテグレーションセンター（検証センター）を開設
- 2011年 7月 プリンターサプライに特化した法人向けECサイト「サプライズバンク ドットコム」を開設
- 2014年 4月 創立50周年
- 2015年 10月 お客様に最適なクラウドサービスを提供するコンソーシアム「俺のクラウド倶楽部」を設立
- 2015年 11月 CAMSSセンター（ビジネスパートナー様向け検証センター）を開設

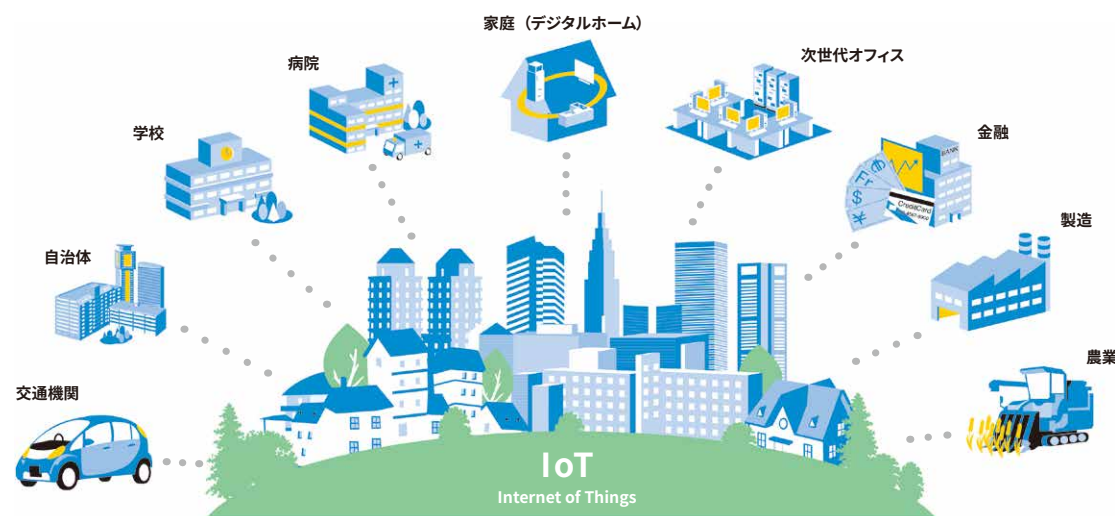


CAMSS センター

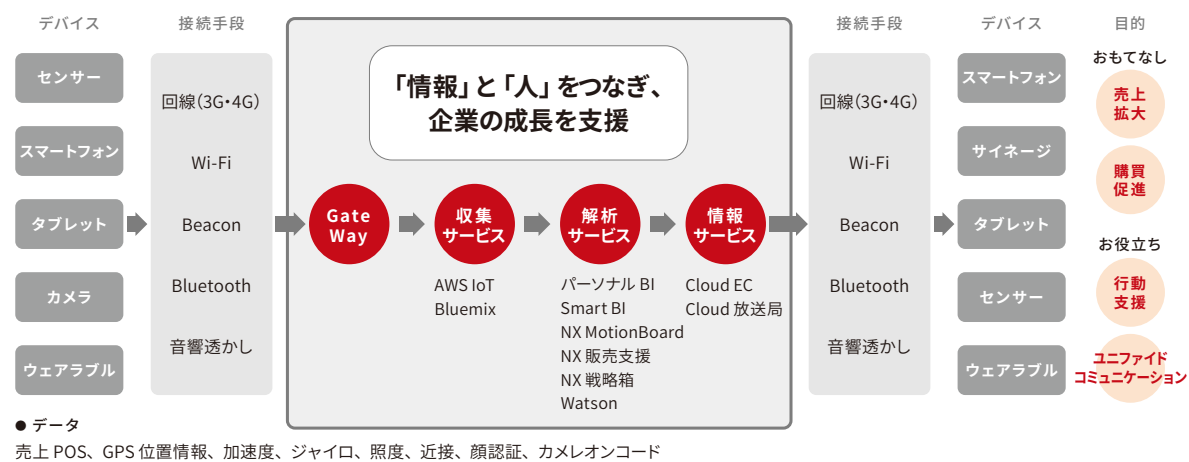
2006

環境の変化に柔軟に対応、多様化するニーズにお応えします

今やITは、企業経営への役立ちのみならず、生活のあらゆる場面に利用され、社会になくてはならないものになってきました。クラウドを中心とした技術の進化、ソーシャルメディアの急成長に加え、あらゆる“モノ”がインターネットにつながる、IoT (Internet of Things) の実現がはじまっています。IoTにより、今まで離れていた“モノ”と“モノ”がつながり、今まで想像できなかったような、新たな価値が生み出される…。JBグループは、クラウドを中心とした具体的なIT活用を提案し、IoTで実現する新しい未来に向けて、お客様と共に、お客様の成長につながる仕組みづくりを進めています。



JBグループのIoTサービス概要



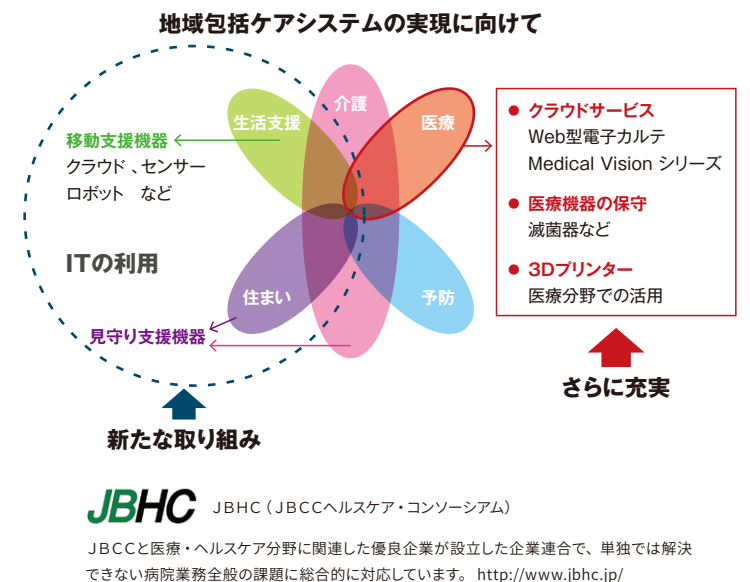
スマートデバイス、ウェアラブル、センサー、カメラ等、あらゆる“モノ”がつながるIoTでは、そこから発生する膨大なデータの中から、必要なデータを収集・解析し、価値ある情報として活用することが求められています。

JBグループは、データを収集・処理して、クラウド上の”サービス”として利用できる環境を整え、お客様の用途・目的に応じた様々なソリューションと組み合わせて、最適なクラウドサービスを提供しています。

医療

医療・ヘルスケア分野の課題解決を支援

JBCCでは、2004年にJBCCヘルスケア・コンソーシアム（JBHC）を設立し、電子カルテ／医療会計を中心に病院情報システムの提供から、セキュリティ・運用保守まで総合力を活かしたIT活用を提案しています。また、「地域包括ケアシステム」の実現に向けたソリューションの展開を進めており、地域連携・往診・在宅診療など必要なニーズをITを活用してつなぎ、医療サービスを安心して受けられる社会の実現を目指しています。



3D

3D事業を充実し、新たな活用を推進

iGUAZUでは、米国 3D Systems 社製の3Dプリンターの取り扱いを2009年からスタートし、JBSで保守の提供を行っています。3Dプリンターはその技術・精度の向上、利用できる造形材料の多様化により、検証用や試作品から完成品へと、その活用分野は日々広がってきています。発展する新たな市場に向け、クラウドでの3Dデータ提供サービスや3Dデータを活用したシステムの構築等、新たなソリュー

ションの提供と、それを支える3D技術者の育成にもグループ全体で取り組みを行っています。



川崎事業所内 3D ショールーム

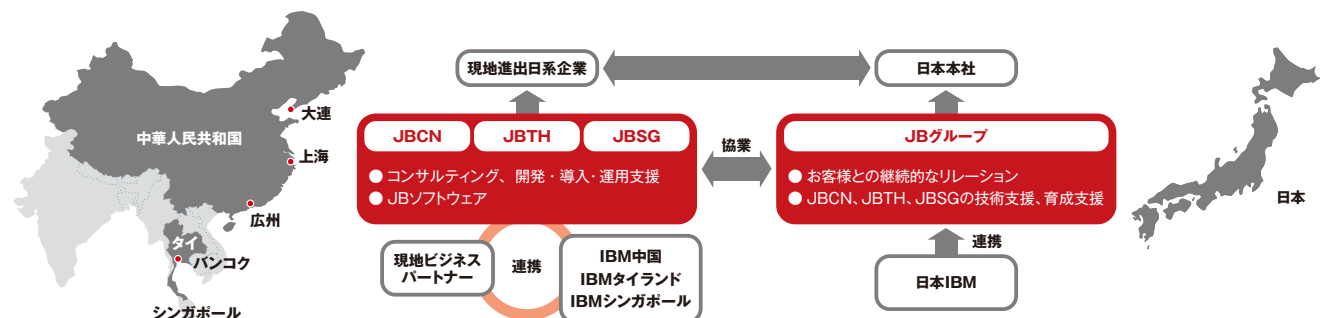
グローバル展開

海外進出日系企業のIT活用を支援

中国・ASEANに進出する日系企業の機器調達／ITシステムの設計／構築から運用までをJBグループ各社や現地企業と連携し、支援しています。お客様の日本本社とも連携をとり、グローバルIT戦略をコーディネートしています。

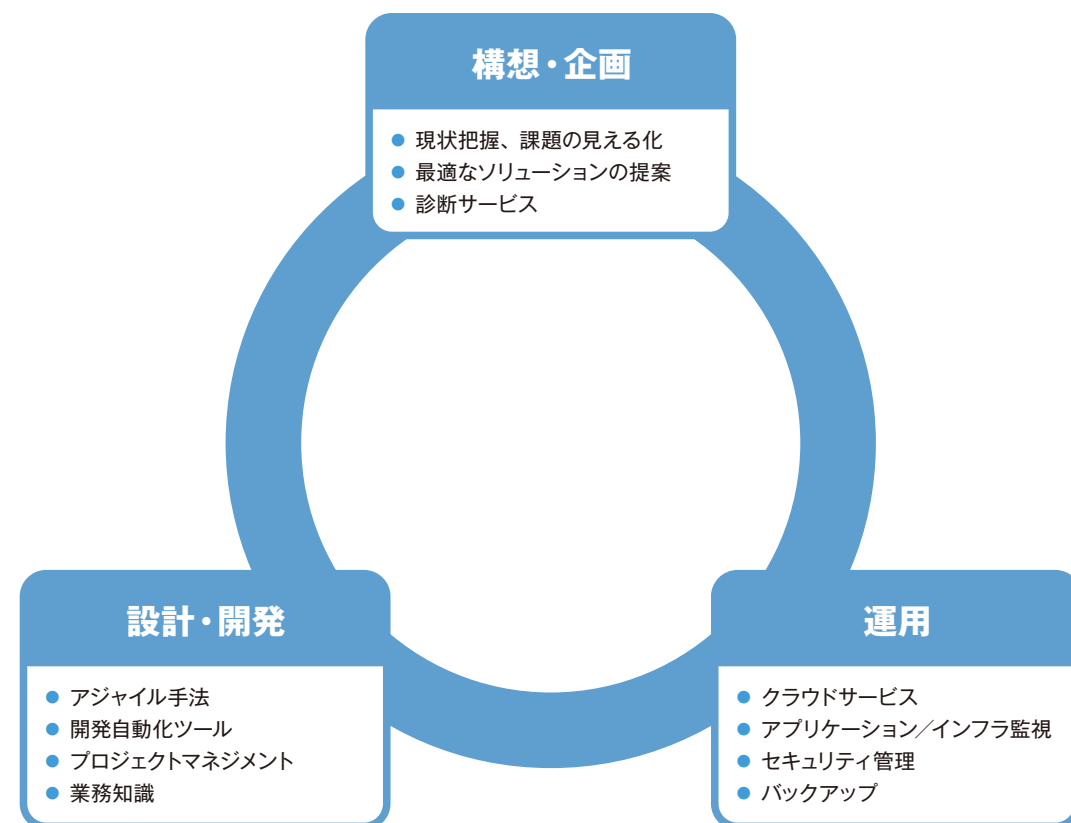
現地ビジネスパートナー

- JBCN { 聯迪恒星 (南京) 信息系統有限公司 (LDNS)
広東華智科技有限公司 (Whizen)
大連百易軟件股份有限公司 (Presoft)
- JBTH — Metro Systems Corporation Public Company Limited.
- JBSG { Avnet Technology Solutions (Singapore) Pte. Ltd.
Ingram Micro Asia Ltd



企業の成長を支援するソリューションを トータルに提供します

2万社以上の様々な企業のIT活用を支援してきた経験と実績をベースに、コンサルティングから設計・構築、運用・保守まで、お客様のライフサイクルを見据えたソリューションをトータルに提供しています。



構想・企画

経営／業務／ITの課題を見える化し、IT活用が効果を生む箇所の抽出、最適なソリューションの提案へと具体化しています。

設計・開発

業務知識、プログラム技術、マネジメント力を結集し、お客様のニーズに即したシステムを構築しています。アジャイル開発手法とツールの採用（設計ツール「XupperII」、開発ツール「GeneXus」）により高速開発を可能にし、高品質で保守性の高いシステムの構築に取り組んでいます。

運用

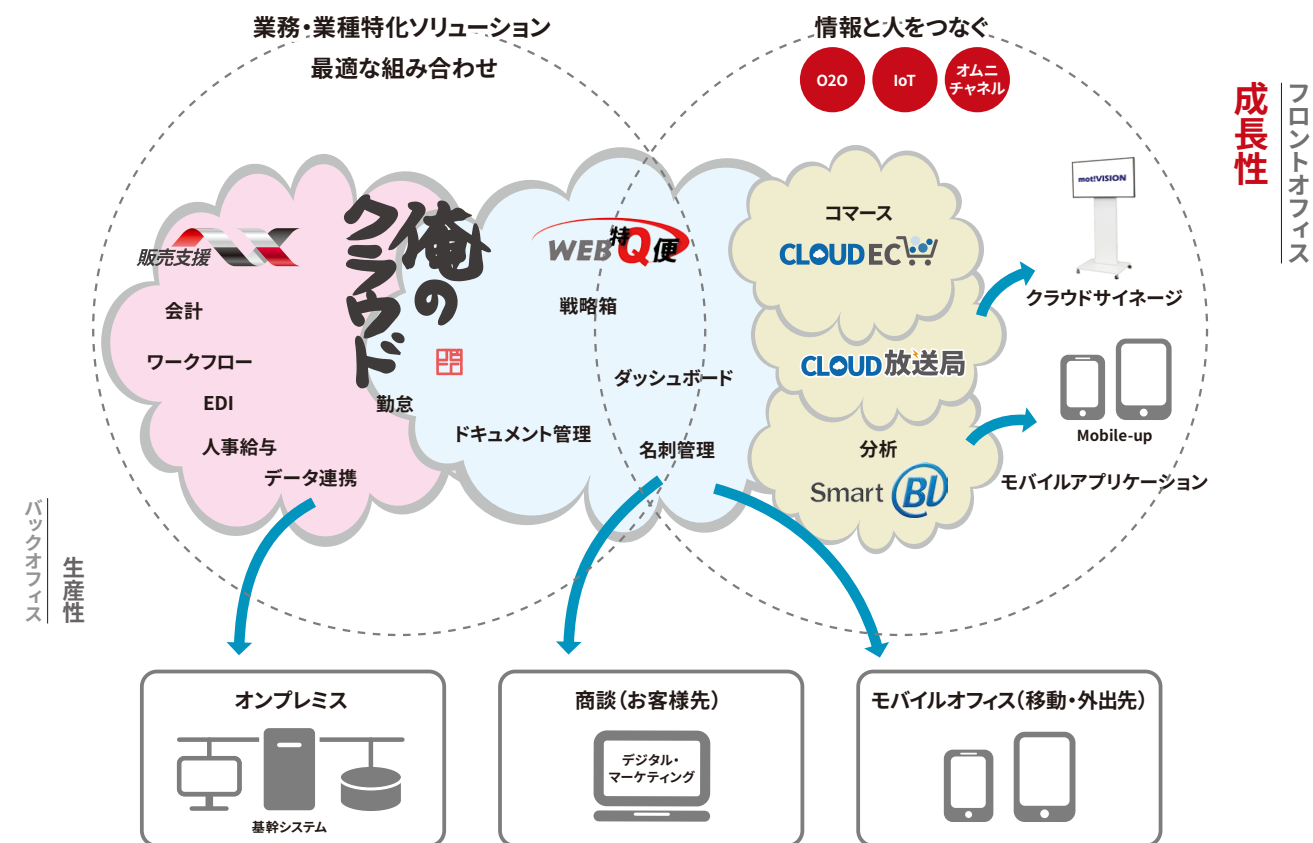
企業のITインフラがクラウドへと移行する中、クラウド運用監視センター CLIC (Cloud Innovation Center) では、クラウド利用手続きの代行から、稼働監視、バックアップ、設定変更など、クラウドの運用をトータルで支援し、利用しやすく、安定したクラウド環境を提供しています。また、運用センターSMAC (Solution Management and Access Center) では、近年頻発するサイバー攻撃に対し、クラウド環境でのセキュリティ対策サービスの拡充を進めています。24時間365日体制で企業のIT資産を守り、万が一のトラブル発生時には、SMACと全国のサービス拠点が連携し、リモートだけでなくオンサイトでの対応も可能な体制を構築しています。

“情報と人をつなぐ”クラウドサービス

クラウドの急速な利用拡大や、スマートデバイスの普及、本格化してきたIoT等により、企業を取り巻くIT環境も変化し、求められることも変わってきています。バックオフィスは、業務の効率化やコスト削減により生産性を高め、フロントオフィスは、多様化するお客様のニーズに迅速に

対応し、企業の成長に貢献することが求められています。IT資産は自己所有からクラウド環境へと移行。業務・業種に特化したソリューションを組み合わせ、最適なサービスをスピーディに提供し、構築から運用まで、お客様の成長をトータルに支援します。

情報と人をつなぎ、大きく成長！ Ecoシステム・クラウドサービス



クラウド運用監視センター CLIC (Cloud Innovation Center)

クラウドを利用するために必要な手続きの代行から、設計、構築、運用まで、トータルにサポートしています。サーバー監視、データのバックアップ、設定変更等の日常の運用に加え、セキュリティ対策にも対応しており、安心・安全なクラウド環境を実現しています。



お客様のシステム開発・運用を支援します

多様なお客様のシステム開発を支援

ビジネス環境の変化やテクノロジーの進化等により、近年のシステム開発へのお客様のご要望は多様化、複雑化しています。アジャイル開発手法とツールを組み合わせた柔軟なシステム開発と専門のセンターで、お客様のシステム開発、運用をトータルで支援します。

ハイブリッド・クラウド環境での検証を支援

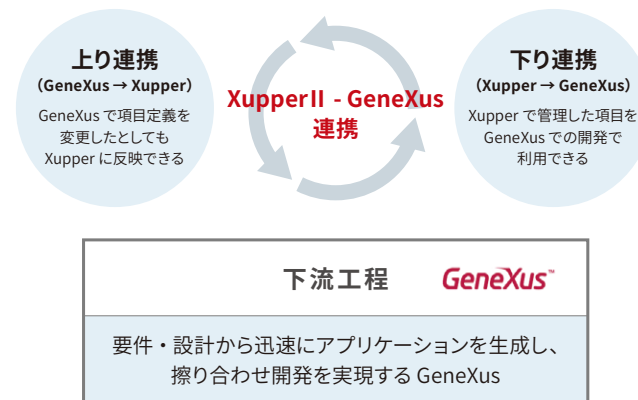
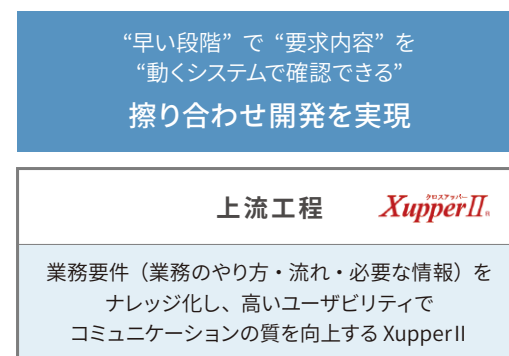
国内外各社のサーバー、ストレージ等の最新ハードウェアとソフトウェアを取り揃え、お客様のシステム環境の検証や、最新ソリューションのデモンストレーション等を提供しています。近年、主流となっている社内基幹システムとクラウドサービスを組み合わせたハイブリッド・クラウド・プラットフォームの各種検証も可能です。技術でシステムの利便性を高め、お客様の更なる成長を支援します。

- 高度に仮想化されたシステム基盤の技術検証
- お客様の既存システムのクラウド環境への移行検証
- ハイブリッド・クラウド環境の検証
- 最新ソリューションの技術検証
- 各種デモンストレーション など

ツール連携による開発・保守品質の向上

システムの開発の上流工程における設計情報を一元管理し、開発へとつなげるXupperIIと、設計情報からプログラムのコードを自動生成するGeneXusの連携で、「擦り合わせ開発」を実現。お客様の意思確認と、要求に対する柔軟な対応が可能で、開発の手戻りを抑えます。設計情報（お客様の要求）と、実装（システム）を一致させ、短期間の開発で、品質を確保し、保守コストを削減したシステムの構築に取り組んでいます。

ウルグアイ東方共和国で開催された「GeneXus国際ナショナルミーティング」（2015年9月）では、世界30ヶ国以上のユーザーやパートナーが集まる中、GeneXusの開発元であるGeneXus S.A. より、日本市場におけるGeneXusの販売拡大についてJBCCが表彰されました。



24時間365日のシステム運用を支援

運用センターSMAC (Solution Management and Access Center) では、24時間365日体制でお客様のIT環境を支援しています。東京、大阪の2箇所のSMACにSOC (Security Operation Center: セキュリティ対策システムに特化した運用センター) 機能を新たに追加し、近年その手口が高度化する標的型攻撃への対応や、マルウェアの分析等、セキュリティ技術の強化に取り組んでいます。社内も、外出先も、クラウドも——、お客様の情報資産を守り“日々の業務を停止させない”運用を支えます。



パートナー企業と連携し、日々進化する脅威に対応

日々進化する外部からの脅威に対応するため、高いセキュリティ技術を持つ、パートナー各社と連携して様々なサービスを提供し、お客様の安全なシステム運用を支援しています。

運用センター SMAC
Solution Management and Access Center

セキュリティ対策
24時間365日
運用体制・要員
ノンストップ運用
災害対策

IT機器 監視運用サービス
ネットワーク サーバー ハウジング ホスティング

セキュリティ 監視運用サービス
ネットワーク エンドポイント Web マネジメント

IoT機器 監視運用サービス
太陽光発電設備 3Dプリンター

ヘルプデスクサービス
専用ヘルプデスク アプリケーション・ヘルプデスク

コールセンターサービス
ハードウェア障害受付 修復作業管理/履歴管理

高品質な体制で事業継続を支援

運用センターSMACは、2つの国際規格の認証を取得し、ITIL準拠の高品質なサービス提供と情報セキュリティレベルの維持・向上に取り組んでいます。このような高品質なIT運用と情報セキュリティを兼ね備えた体制を東京・大阪2箇所のSMACで二重化し、災害時等でもお客様の事業継続を支援します。

[認証取得] SMAC 東京/大阪、中部/西日本サービスデスク

IT サービスマネジメント



JQA-IT0030

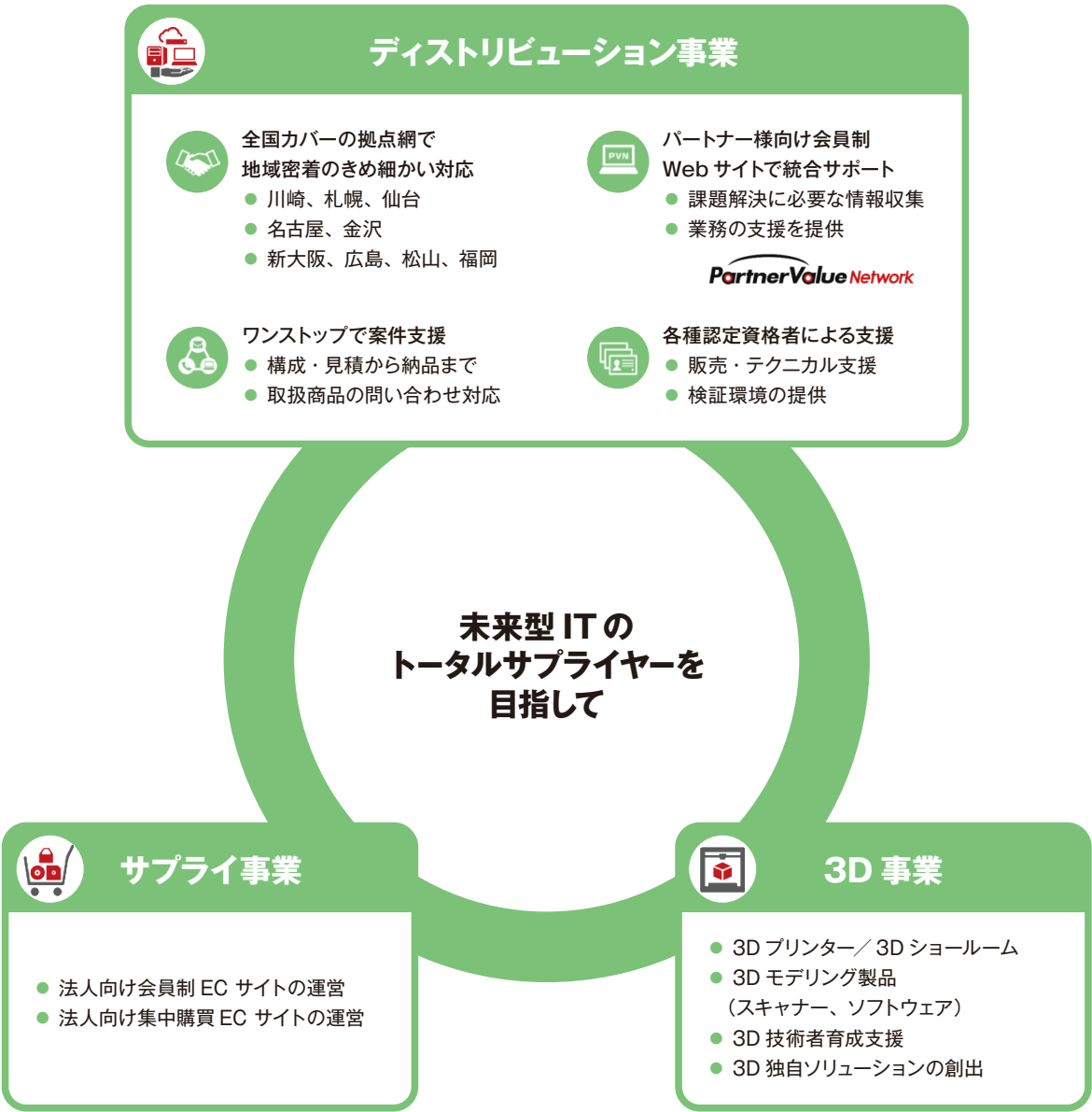
情報セキュリティマネジメント



JQA-IM0148

ビジネスパートナー様に様々なIT製品・ソリューション・サービスを提供します

ビジネスパートナー様に様々なIT製品・ソリューション・サービスをワンストップで提供するディストリビューション事業、ITサプライを主としたサプライ事業、技術革新で応用分野が広がる3D事業など、幅広い分野でビジネスの拡大を支援しています。



…あらゆる側面でビジネスを支援

ディストリビューション事業

主に全国約650社のビジネスパートナー様向けに、優位性のある商品・ソリューションを、マルチベンダーで見積もり、構成、納品まで、ワンストップで提供しています。

また、ビジネスに役立つ情報の提供、資格取得のためのスキルアップ支援など、あらゆる側面でビジネスパートナー様を支援しています。



CAMSSセンター
クラウド・アナリティクス・モバイル・ソーシャル・セキュリティ (CAMSS) 分野の製品・サービスを評価・検証するセンターをパートナー企業向けに開設

サプライ事業

豊富な品揃えのサプライ品を様々な形態で提供しています。

- **法人様向け** [サプライズバンクドットコム]
専門性と価格優位性を強みにプリンターサプライ専門のショッピングサイトのみならず、周辺機器など7,000点以上の商品を扱っています。「HUGGER」の日本での輸入総代理店としてPCバックの直販、卸も行っています。

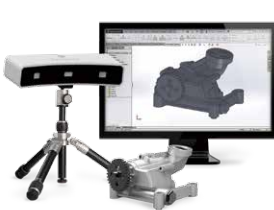


従来の監視・防犯カメラと異なり拡張性の高いEagle Eyeのクラウド監視カメラ

3D 事業

米国3D Systems 社製3Dプリンターを製造業から個人向けまで幅広いラインナップで取り揃えています。川崎事業所に併設するショールームでは、3Dプリンターの具体的な活用イメージを持っていただけるように、稼働中の実機や造形物をご紹介します。

また、急速な発展・拡大が期待される3D分野において、3Dプリンターや材料の販売・保守に留まらず、造形するデータの作成支援ソフトウェアやスキャナー等の周辺機器の販売等、独自のソリューションやサービスを創出し、付加価値を提供しています。



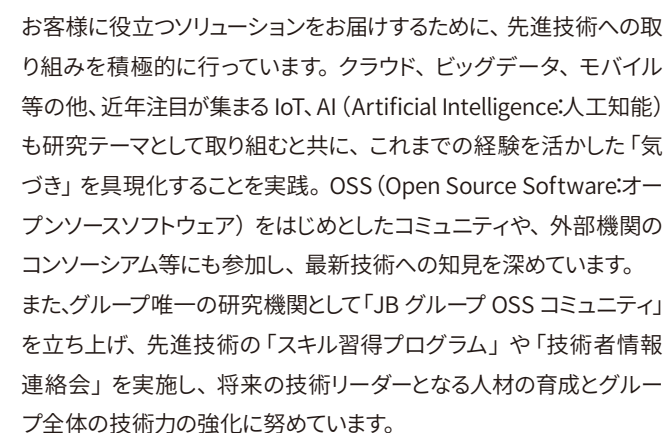
3Dスキャナー



プラスチック素材でフルカラー造形を実現する企業向け3Dプリンター

更なるグループの独自性を創出、お客様に役立つ製品やサービスを提供しています。

お客様の生産性の向上と成長を支援します。



技術者情報連絡会
b) 最新技術動向の共有と、技術者間の
コミュニケーションを目的に開催

社会および環境との調和を図ります

CSR基本理念

JBグループはベスト・サービスカンパニーとして、よき企業市民を目指し、社会および環境との調和を図ります。

CSR実施方針

- (1) 法令・規制を遵守し、お客様との約束を守り、高水準の倫理を保つ。
- (2) 常に最新の IT に挑戦し、自らマインドによる開発、自社活用、お客様への提案・提供により、日本の IT 活用の促進に貢献する。
- (3) グローバルな視野を持つよき企業市民として、社会への貢献、環境保全活動を積極的に行う。

社会貢献・環境保全活動

JBグループでは、「事業活動を通じた活動」、「企業市民としての活動」、「企業倫理・社会的責任遵守活動」の主に3つの分野で活動しています。

事業活動を通じた社会貢献活動

- システムの最適化提案によるグリーン IT の実践（サーバー統合、仮想化、クラウド）
- 環境省・国土交通省より港湾低炭素化推進の実証事業を採択
- カーボンオフセット事業による企業の CO₂ 排出削減を支援など

企業市民としての社会貢献活動

- 被災地支援（森の長城プロジェクト）
- 環境活動（緑化活動、ISO14001、「Fun to Share」への参加）
- 障がい者支援（関東車椅子バスケットボール連盟に協賛）など

企業倫理・社会的責任遵守活動

- JBグループ内部統制方針
- JBグループ行動基準
- JBグループ環境方針
- 社会的責任
 - 雇用拡大（女性、障がい者、高齢者）
 - ポジティブ・アクション宣言（企業における女性活躍推進の取り組み）
 - ポジティブ・オフ宣言（ワークライフ・バランス実現への取り組み）

環境改善への取り組み

環境への影響を持続的に改善するため、環境マネジメントシステムに関する国際規格ISO14001の認証登録を継続しています。(2015年度 認定登録/JBCCホールディングス、事業会社9社) ISOマネジメントシステム認証を長期にわたり継続していることに対して審査機関（日本環境認証機構）より、「ISO14001 10年継続賞」を2015年3月に受賞しました。



事業を通じた活動に加え、地域・社会とともに社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

関東車椅子バスケットボール連盟への協賛

2014年度より、関東車椅子バスケットボール連盟に協賛しています。この団体にはJBグループの社員2名が所属するチームも加盟しており、一部の大会運営にはJBグループ社員もボランティアスタッフとしてお手伝いしています。



被災地支援 森の長城プロジェクト

『森の長城プロジェクト』に賛同し、この団体が企画する植樹・育樹活動に参加しています。2015年度も、JBグループ従業員からの参加を募り、東日本大震災被災地でのボランティア活動を3回実施するとともに、寄付金による支援も行っています。



ホルチン砂漠緑化活動

中国モンゴル自治区に広がるホルチン砂漠の地に再び緑を!を合言葉に植林と植林後の維持管理をする緑化活動を2004年より継続して行っています。活動した一帯を「JBグループ希望の森」と名づけ、これまでに36ha（東京ドーム7.7個分）に拡大しています。



地域清掃活動への取り組み

JBグループでは、各事業所周辺の地域清掃活動に参加し、札幌、新宿、横浜、福岡など、各地で清掃活動を行っています。



不用になったカレンダーの寄付

年末年始にかけて、各社・各事業所から集まったカレンダーを、最寄りの社会福祉協議会等に寄付しています。2015年度は、500本ものカレンダー等を寄付しました。



募金活動

毎年JBグループ内で募金活動を実施しています。2015年度は「ホルチン砂漠緑化募金」139,793円、「外貨コイン募金」日本円に換算して約40,944円が集まりました。また、2015年4月に発生したネパール地震に対しても、義援金を寄付を行い、長年の国内外への義援金寄付に対し、日本赤十字社から表彰されました。



CSRレポート発行

2012年度より、毎年のJBグループCSR活動を1冊にまとめた、CSRレポートを発行しています。
詳細はホームページよりご確認ください。
<http://www.jbccchd.co.jp/csr/report.html>





お客様の満足度向上に努めます

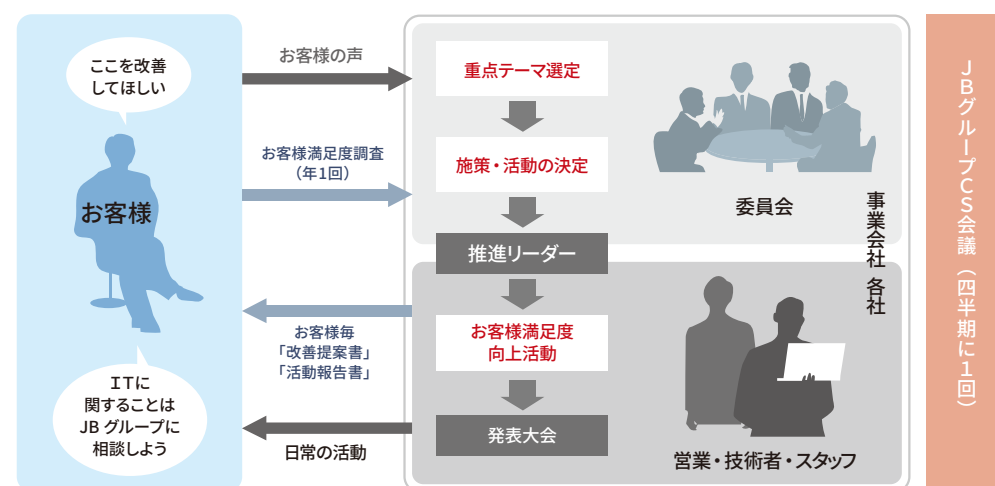
JBグループは、お客様の経営課題を解決し、企業の成長を支援するIT活用をお手伝いしています。

お客様に信頼され、ITに関することなら何でも任せてもらえるパートナーとして認めていただけるように努めています。

…お客様の声を伺い、活動に展開

日常の活動でお客様が抱える課題や要望を理解すると共に、お客様からの評価やご意見を伺う「お客様満足度調査」を毎年実施しています。

お客様の声を日々の活動の質や、サービス品質の向上、業務改善などに反映し、お客様により一層ご満足いただけるよう、継続した改善活動を行っています。



全員参加の「CS活動」を実施

「お客様満足度調査」の結果や日頃のお客様の声をベースに、全職種のメンバーが連携して、業務に密着したCS活動を実施しています。活動はPlan (計画) → Do (実行) → Check (評価) → Action (改善) のサイクルで継続的にを行い、活動内容をグループ内で共有・展開しています。

※ CS: Customer Satisfaction (お客様満足)

「CS活動」のベースとなるES

お客様満足を実現するためには、ESが不可欠と考え、「社員満足度調査」を毎年実施し、プロフェッショナルの育成や働きやすい職場環境の実現等を具体的に行っています。

※ ES: Employee Satisfaction (社員満足)

CS&ES 活動発表会を実施

お客様満足や社員満足の向上をねらいとする改善活動を事業会社毎に実施しています。

毎年、グループでの活動発表会を実施しており、2015年度は約150チームの中から選出された12チームが活動の苦労や成果を発表し、グループ内で共有しました。



…JBグループを理解いただくために

JB Group IT Forum

毎年春に、各分野でリーダーシップを持つ協賛パートナー各社と、JB Group IT Forumを実施しています。

東京、名古屋、大阪の3カ所で開催しており、基調講演にはIT分野のみならず、経済や文化等、幅広く講師をお招きしています。

展示やセッションでは、経営や日々の業務に役立つ情報を具体的にご提案しています。



JB Group IT Forum 展示会場

情報提供

各種ソリューションや導入事例など、お客様に役立つ情報をホームページやソーシャルメディアでタイムリーにお知らせするとともに、JBグループ情報誌などでも詳しくご紹介しています。

グループ各社主催のセミナーでは最新ソリューションや導入事例・効果について、より具体的にご紹介しています。



JBグループ情報誌Link

経営層を主な読者対象として、IT活用のみならず文化・教養に関する情報をご紹介します

電子書籍 <http://www.jbgroup.jp/link/>
お客様事例 <http://www.jbgroup.jp/casestudy/>



ソーシャルメディア

Facebook
<https://www.facebook.com/jbcchd>

Twitter
<https://twitter.com/jbcchd>

IR活動

お客様のみならず、投資家の皆さまにもJBグループをご理解いただくべく、決算説明会や個別面談とともに、東京証券取引所や日本経済新聞社主催のIRイベントに継続的に参加しています。定量情報のみならず、業界動向や注力分野等についてもわかりやすくご案内しています。

また、ホームページにも専用のコーナーを設けてビジネス状況をお伝えしています。

※ IR: Investor Relation



JBグループポータルサイト
<http://www.jbgroup.jp/>



個人投資家向けIRイベント 出展ブース



JBグループの書籍
<http://www.jbcchd.co.jp/corporate/book.html>

JBグループの事業会社13社をご紹介します

2016年4月1日現在

情報ソリューション（国内）

変革と成長に貢献し続けるIT活用を提案

クラウドサービスやシステムの開発・運用を通じ、将来にわたりお客様のビジネスの成長を支え続けるITを、幅広い業種のお客様1社1社に、最適な形で提案し、圧倒的なスピードで対応しています。

JBCC株式会社

代表取締役社長：東上 征司
社員数：1038 名
設立： 1988 年 4 月 1 日
URL： <http://www.jbcc.co.jp/>



IT・セキュリティに関する監視・運用・保守サービスを提供

運用センター SMAC と全国のサービス拠点をベースに、IT・セキュリティに関する監視・運用・保守サービスを提供。医療分野・3D 分野などにもサービスの領域を拡大しています。

JBサービス株式会社

代表取締役社長：三星 義明
社員数：319 名
設立： 2007 年 4 月 2 日
URL： <http://www.jbsvc.co.jp/>



中部地区に密着してお客様のIT活用を支援

中部地区での経験と実績を活かし、主にものづくり支援（PLM）、バックオフィス業務構築（会計・人事 / 給与など）、セキュリティの各種ソリューション&サービスを提供しています。

株式会社シーアイエス

代表取締役社長：後藤 雅彦
社員数：103 名
設立： 1982 年 2 月
URL： <http://www.cisjp.com/>



基幹システムと最新 Web テクノロジーの融合を支援

SI 事業、HRS 事業を軸に、日本 IBM、NTT データ イントラマートなどの企業と連携し、基幹システムと最新 Web テクノロジーを融合したシステム構築 / 運営を支援しています。

ゼネラル・ビジネス・サービス株式会社

代表取締役社長：宮下 克昭
社員数：83 名
設立： 1993 年 6 月 29 日
URL： <http://www.gbs.co.jp/>



九州、中国地区に密着してお客様のIT活用を支援

九州、中国地区のベスト・ソリューション・パートナーとして製造業・プラントエンジニアリング業・情報通信業・公共・医療のお客様を中心に、幅広い業種・業務に各種ソリューション&サービスを提供しています。

株式会社ソルネット

代表取締役社長：長浜 好数
社員数：178 名
設立： 1967 年 2 月 3 日
URL： <http://www.solnet-dot.com/>



人財育成を支援する幅広い研修を提供

次代を担う人財育成を支援する企業として、人財開発研修、営業研修、IT 研修、PM 研修、IBM 製品研修など、豊富な研修サービスを提供しています。

株式会社アイ・ラーニング

代表取締役社長：片岡 久
社員数：61 名
設立： 1990 年 2 月 1 日
URL： <http://www.i-learning.jp/>



情報ソリューション（海外）

中国に進出するお客様のIT活用を支援

中国での IT 総合窓口およびオフショア開発の拠点として、現地ビジネスパートナーやJBグループ各社と連携し、機器調達 / IT システムの設計 / 構築から運用までワンストップで支援しています。

佳報（上海）信息技术有限公司

董事長総経理：森 浩二
社員数：20 名
設立： 2009 年 11 月 30 日
URL： <http://www.jbcchd.co.jp/jbcn/>



タイに進出するお客様の IT 活用を支援

タイでのIT総合窓口として、現地ビジネスパートナーやJBグループ各社と連携し、機器調達 / IT システムの設計 / 構築から運用までワンストップで支援しています。

JBCC (Thailand) Co., Ltd.

代表取締役社長：磯野 章一
社員数：11 名
設立： 2010 年 7 月 13 日
URL： <http://www.jbcchd.co.jp/jbth/>



ASEAN に進出するお客様の IT 活用を支援

ASEAN でのIT総合窓口として、現地ビジネスパートナーやJBグループ各社と連携し、機器調達 / IT システムの設計 / 構築から運用までワンストップで支援しています。

JBSG PTE. LTD.

代表取締役社長：磯野 章一
社員数：2 名
設立： 2013 年 1 月 30 日
URL： <http://www.jbcchd.co.jp/jbsg/>



オフショア開発を提供

日本と中国の架け橋役として、システム開発経験豊富な中国人 SE を日本国内のお客様先に紹介し、開発を支援しています。

JBパートナーソリューション株式会社

代表取締役社長：市川 国昭
社員数：12 名
設立： 2010 年 2 月 22 日
URL： <http://www.jbps.co.jp/>



ディストリビューション

ビジネスパートナー様に様々な商材を提供

主にビジネスパートナー様に最新のシステム製品、IT サプライや3D プリンター、およびクラウドサービスなどの新たな商材を、価値ある情報とともに提供しています。

株式会社イグアス

代表取締役社長：矢花 達也
社員数：273 名
設立： 2005 年 11 月 22 日
URL： <http://www.i-guazu.co.jp/>



製品開発製造

オリジナルソリューションを開発・提供

コンピューター開発・製造の経験とノウハウを活かし、オリジナルソリューション（生産管理 / 販売管理 パッケージ、情報連携 / プリンティング / レポートツール）、各種ハードウェアを開発・製造しています。

JBアドバンスト・テクノロジー株式会社

代表取締役社長：谷口 卓
社員数：223 名
設立： 1991 年 10 月
URL： <http://www.jbat.co.jp/>



シェアード・サービス

JBグループ各社のスタッフ業務を推進

人事・総務、経理・財務、情報システム、業務サービスなどのスタッフ業務をJBグループ各社に提供しています。また、JBCCホールディングスのコーポレートスタッフとしてグループ全体の統制管理を支援しています。

C&Cビジネスサービス株式会社

代表取締役社長：後藤 浩
社員数：149 名
設立： 2002 年 4 月 1 日
URL： <http://www.ccbs.co.jp/>



JBCCホールディングスの会社概要をご 紹介します

2016年6月16日現在

●●● 会社概要

社 名	JBCC ホールディングス株式会社
英 文 名 称	JBCC Holdings Inc.
U R L	http://www.jbcchd.co.jp/
設 立	1964 年 4 月 1 日
所 在 地	〒144-8721 東京都大田区蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア15F
資 本 金	4,687 百万円
グループ社員数	2,500 名 (有期社員 232 名 を含む) 2016 年 4 月 1 日現在
事 業 内 容	純粋持株会社
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 (証券コード 9889)
会 計 監 査 員	あらた監査法人

●●● 役員

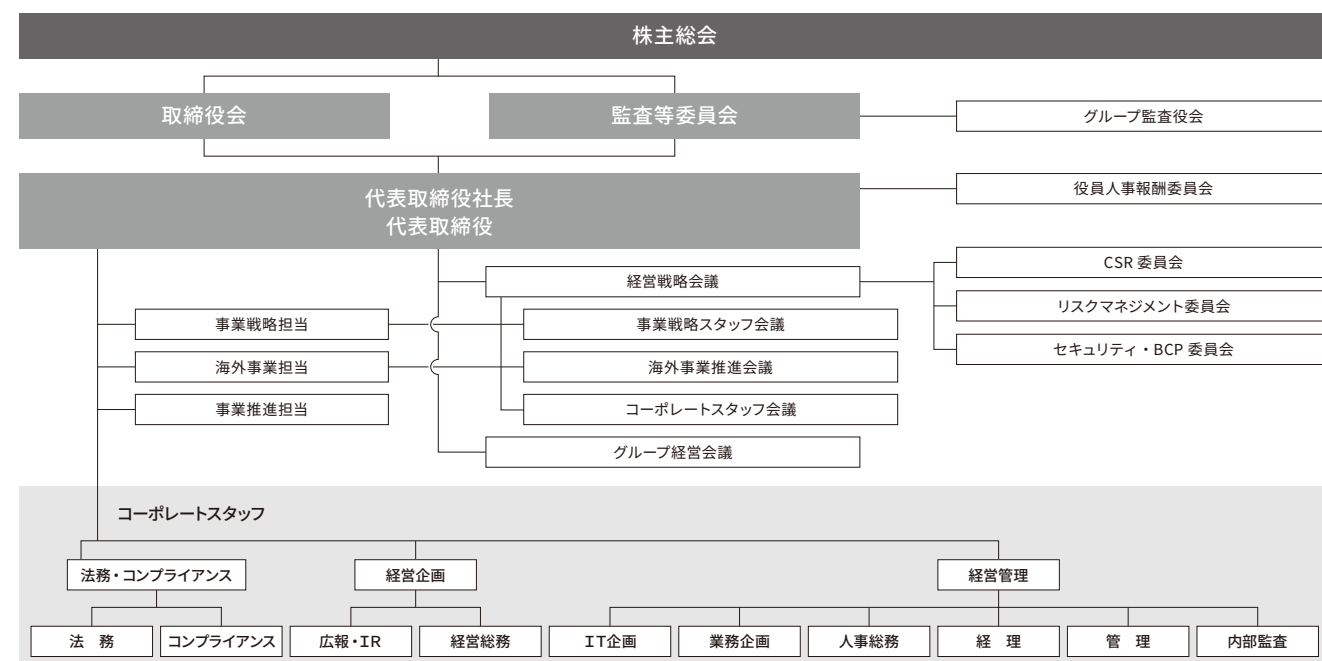
代 表 取 締 役 社 長	山田 隆司
代 表 取 締 役	東上 征司
取締役専務執行役員	赤坂 喜好
取締役常務執行役員	一木 一夫
	矢花 達也
	谷口 卓
取 締 役	長谷川 礼司 (社外)
	田邊 雅章 (監査等委員)
	今村 昭文 (監査等委員・社外)
	齊藤 紀夫 (監査等委員・社外)

●●● グループ拠点

JBグループの各拠点からダイレクトにお客様をサポート。
いつでも、どこでも同品質のサービスを提供しています。



●●● 組織体制



●●● コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

JBグループの経営方針は、(1) 透明性の高いグループ経営、(2) 企業価値の増大、
(3) 日本のIT活用促進に貢献の3つであり、ステークホルダー（お客様、株主、取引先、社員、社会）に対し、
常に最高の価値を提供し、企業価値を継続的に向上できるよう努めています。
詳細はホームページよりご確認ください。 <http://jbcchd.co.jp/ir/manegement/governance.html>

体制

6月16日の第52期定時株主総会の決議を受け、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行しました。移行により業務執行と監督の分離を一層進め、ホールディングス体制のもと、より迅速な意思決定の実現を図ります。また、社外取締役が過半数を占める監査等委員会により取締役会の監督機能を一層強化することで、コーポレートガバナンスの実効性を高め、企業価値の実現を目指します。

コンプライアンス

コンプライアンス経営を徹底し、役員および社員の意識づけを図るために「JBグループ行動基準」を制定し、この実践を通じて高い倫理観を共有し、広く社会から信頼される企業体となるよう努めています。